

日露戦争

日清戦争が日本と非文明国（清）とを西洋に判別させるための「入学試験」であったとすれば、西洋の大国ロシアを相手とした日露戦争はその「卒業試験」であった。日露戦争は、機関銃などの新兵器の登場で本格的な近代戦・物量戦となり、また、第一次世界大戦の遠因にもなったため、近年「第0次世界大戦」とも呼ばれる。

○対露開戦の準備

●強まるロシアの脅威

ロシアの南下が朝鮮半島に及べば、日本の国防にも影響を与える。

⇒日清戦争後、ロシアは次のことで着実に脅威を増した。

- ①朝鮮に親露政権が樹立し、国号を大韓帝国と改称
- ②遼東半島の⁽¹⁾ _____・⁽²⁾ _____を租借
- ③東清鉄道が⁽¹⁾ ^{とうしん} _____⁽²⁾ まで延長
- ④北進事変を契機に、⁽³⁾ _____全域を事実上占領

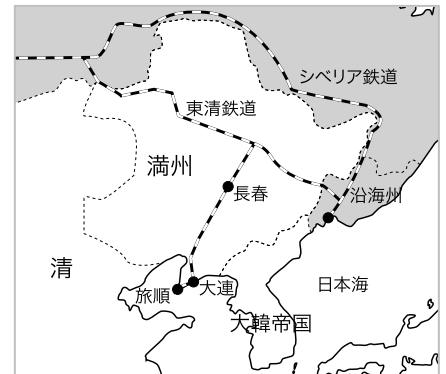


図1 日露戦争前の東アジア

●2つの対露政策

対ロシアの政策として、日本では次の2つの考え方に分かれた。

①日露協商論

…「ロシアの満州支配」「韓国での日本の優越権」の日露での相互承認、
いわゆる満韓交換を交渉する考え方

②日英同盟論

…ロシアの南下を警戒する⁽⁴⁾ _____に接近する考え方

1902年、⁽⁵⁾ _____締結

…1923年まで続いた、日英の軍事同盟を約束する協約

- ◇同盟…どちらか一方が1国と開戦する場合には他方が中立を守り、
2国以上と開戦する場合には共同で戦う関係



図2 旅順に残るロシア軍の要塞砲



図3 ロシアに日本をけしかける英米

●日露開戦の賛否

日本は、日英同盟を背景にロシアと交渉し、一方で開戦の準備もした。

⇒好転しない日露の関係に、世論も戦争の賛否をめぐり対立し始めた。

<主戦論>

1903年に結成した強硬姿勢の国家主義団体⁽⁶⁾ _____
東京帝国大学の七博士意見書（中心人物：戸水寛人^{とみずひろひと}）
『⁽⁷⁾ _____』の黒岩涙香^{ろくいこう}、『国民新聞』の徳富蘇峰^{とくとみそほう}



図4 内村鑑三



図5 幸徳秋水



図6 与謝野晶子



図7 『明星』

<非戦論・反戦論>

キリスト教徒で人道主義の立場に立つ⁽⁸⁾ _____

平民社（機関誌『⁽⁹⁾ _____』）の社会主義者⁽¹⁰⁾ _____・⁽¹¹⁾ _____

開戦後、『明星』で長詩「⁽¹²⁾ _____」を発表した⁽¹³⁾ _____

- ◇平民社…黒岩涙香の主戦論に反発した（10）（11）が『万朝報』を退社して設立

○日露戦争

●日本とロシアの武力衝突

1904～05年9月、⁽¹⁴⁾ _____

…日露の交渉決裂後、日本軍の旅順・仁川攻撃で始まった軍事衝突

…日本は国力、ロシアは革命運動が問題となり、戦争継続が途中で困難化

…局地戦①奉天会戦：1週間の激戦の末、ロシア軍を後退させた戦い

…局地戦②日本海海戦：1905年5月、三笠を旗艦とする日本連合艦隊が、
ロシアのバルチック艦隊をほぼ全滅させた海戦

◇(14) …戦費は約17億円で、約13億円は内外の国債に、約3億円は増税に依存

信号旗の1つ「Z旗」に「皇国ノ興廃コノ一戦ニアリ、
各員一層奮励努力セヨ」の意味を持たせて掲揚



Z旗

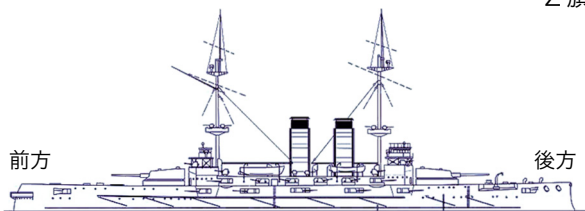


図8 世界三大記念艦「三笠」(全長131.7m)



図9 三笠艦橋之図



図10 日露戦争

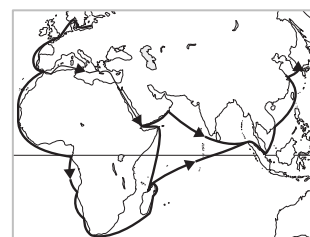


図11 バルチック艦隊

●講和条約

1905年9月、⁽¹⁵⁾ _____ 締結

…アメリカ大統領⁽¹⁶⁾ _____ の仲介を受け、
日本全権⁽¹⁷⁾ _____ とロシア全権⁽¹⁸⁾ _____ が
結んだ日露戦争の講和条約

…①大韓帝国に対する日本の指導・保護・監督権を承認

…②清からの⁽¹⁹⁾ _____、⁽²⁰⁾ _____ の租借権を日本に譲渡

…③東清鉄道の長春以南とその付属の利権を日本に譲渡

…④⁽²¹⁾ _____ の北緯50度以南とその付属の諸島を日本に譲渡

…⑤沿海州とカムチャッカの日本の漁業権を承認

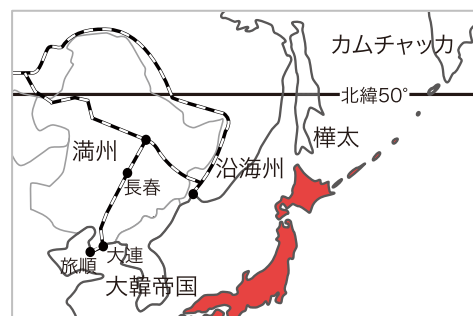


図12 ポーツマス条約

●講和条約への不満

1905年9月、⁽²²⁾ _____

…人的損害と増税で戦争を支えたが、講和条約で賠償金を得られず、
民衆がその締結を「国辱」とし、不満を爆発させた暴動事件

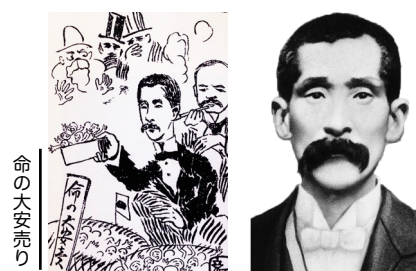


図13 命の大安売りと小村寿太郎

フィンランド産のビール—東郷ビール

東郷平八郎率いる艦隊は、日本海海戦でバルチック艦隊を撃滅した。「東洋の小国日本」が「大国ロシア」に大勝利を納めた快挙に、フィンランドは勇気づけられ、ロシアの支配と圧政からの独立運動を起こして1917年にこれを達成した。東洋の英雄「アドミラル トーゴー」は、現在でもフィンランドの小・中学校の教科書で紹介され、フィンランド人の心に深く刻まれている。1972年には、ビューニッキ社が東郷ビールを生産開始した。日本海海戦の歴史的意義に思いをはせながら、是非味わいたい一品である。

